

平成 28 年度 事業計画書

平成 28 年 4 月

大阪国際学園

平成 28 年度 事業計画

1. 大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部

(1) 「募集力の強化」

ここ数年、地に足をつけた地道な活動（高校訪問・オープンキャンパス等）を強化してきたことが、入学者増（大学）につながったと考えている。引き続き、本方針を継続し実施していく。また、平成 29 年度入試に関しては、能力・意欲・適性等を多面的に判定できる、多様な入試選抜を実施するとともに、一つでも多くの入学選考において、WEB 出願の導入を目指し、受験生の利便性の向上に努める。

(2) 「授業改善を含む「教学の改善」」

平成 27 年度に引き続き、「FDセンター」主導により、「授業向上マニュアル」の徹底と、「授業改善」に係る PDCA を機能させる取組みを推進する。加えて非常勤講師担当授業を含め、「教養教育機構」の各部会による授業見学や指導など、その改善にかかる取組みを強化する。また平成 29 年度からの「授業科目の精選」を始めとする教育課程改編と中教審等の指針に沿った教学制度の見直しを図る。「3 ポリシーの策定及び運用ガイドライン」の公布並びに関連する「学校教育法施行規則」の改正告示が行われる予定（29 年 4 月施行予定）であるため、特に教務諸制度について、その趣旨に則ったものとなるよう、早期に規程改正を含め確定する。

(3) 「キャリア教育と就職支援体制の強化」

「キャリア教育」を中心とした教学改革の推進を図るとともに、インターンシップ等産学連携の人材育成の場を通じた学生の社会人基礎力養成並びにキャリア的視野拡大に努め、実践的就職支援活動を強化する。継続的に就職部の組織能力向上を図るとともに、平成 29 年度就職決定率 100% 達成に向けて、全学教職員一体となった就職支援体制づくりを目指す。また保護者を対象とした支援や企業とのマッチング機会の強化を図る。

(4) 「国際化・グローバル教育の質の向上」

年間約 300 名の学生を海外留学・研修プログラムに基づき海外に派遣し、グローバル感覚の醸成を目指す。併せて、学生の英語力を向上させるため、English Island、留学のための試験対策講座を開講し、英語を身近に感じることのできる環境を充実させる。また平成 29 年度までに、海外協定校 100 校を開拓し（平成 28 年 2 月現在で 86 校）、協定書に基づく活発な教職員交流・学生交流へと繋げていく。

(5) 「課外教育活動の推進」

平成 27 年度に引き続き、課外活動支援強化の一環として、施設設備の充実を図るとともに、クラブ活動の国際化（クラブの海外派遣等を含めた国際交流）を進める。またクラブ所属学生のエンカレッジとして、キャリア形成支援を行うとともに、

ボランティア活動を奨励し、人間力の向上を進めていく。

(6) 「地域貢献活動の推進」

本学の地域貢献活動は学園としての活動を含め、地域協働センターを中心に推進していく。平成 28 年度の重点取組みは、①産官学連携事業の立ち上げと展開 ②ボランティアバンクの育成と基盤強化 ③閑空でのボランティア活動の発展と継続 である。これらの活動に加え、小学生を対象にしたサマースクール、ガンバ大阪とのキッズサッカースクールの開催、防災イベントの開催、公開講座の開催など多彩な地域貢献活動を推進していく。

2. 大阪国際滝井高等学校

(1) 「学校力の充実・強化」

中期経営計画の初年度として、本校の教育力及び募集力を更に充実・強化し、学校の運営基盤をより強固にする。

(2) 「特進コース(文系・薬学系)、看護進学コース、国際科の学力レベルアップと進学実績の向上」

カリキュラムの見直し、授業時間の増加、教育指導体制の強化（特別進学指導主任の新設、担任を有しない教員の学習指導）等により進学実績を向上させ、併せて学校全体の学力向上と募集力の強化に役立てる。

(3) 「国際科の拡充」

将来的な実施を視野に、国際バカロレアの取り組みを具体的に検討する。併せてイマージョン教育を可能な教科から導入し、英語力の向上を図る。また現行の留学制度の見直し、改善を行う。

(4) 「耐震化工事の実施」

安全な学校環境を早期に実現することから、平成 28 年度中（主に夏期休業期間）に校舎の耐震化工事を実施する。行政の耐震化工事補助金の活用を図る。

3. 大阪国際大和田 中学校・高等学校

(1) 「ICT 教育の推進」(中学)

ICT を活用した教育を推進するため、ネットワーク環境の整備、タブレット PC

及び周辺機器の購入、プロジェクターの設置、デジタル教科書の購入などを行い、
中学全学年で展開できるようにする。このことにより、他の中学校との差別化を
図る。この成果を検証し見極めたうえで、高校にも展開していくこととする。

(2) 「総合学習の充実」(中学)

特色ある中学の授業として、今年度も引き続き、Voice、華道、チェス、囲碁、
書道、マジック、ダンス、PBL(課題解決型授業)といった差別化できる学習の
充実を図る。

(3) 「国際交流の推進」(中学・高校)

中学1年生から新たなシステムを導入し、年次展開で英会話能力を飛躍的に伸ば
し、中学、高校での海外語学研修の更なる充実を目指す。

(4) 「ココロの学校の充実」(中学・高校)

社会で活躍している人たちの生き様に触れ、話を聞くことにより、生徒の人間
としての大いなる成長を期待する。27年度に引き続き、様々な分野において現役で
活躍している方々に講演をしていただく。

(5) 「生徒募集活動の積極展開」(中学・高校)

中学及び高校の生徒募集において、募集担当教職員をはじめ、教職員一丸となっ
て本校の魅力をステークホルダーに伝えていく活動を積極的に展開する。

(6) 「進路指導活動の充実」(高校)

国公立大学、関関同立をはじめ私立大学への入学者数目標を掲げ、生徒に徹底し
たきめ細やかな指導と保護者の理解に努める。

4. 幼保連携型認定こども園 大阪国際大和田幼稚園

(1) 「園舎の建替えと教育・保育の充実」

建学の精神・理念に沿って、認定こども園としての教育・保育方針「生きる力の
基礎を育成」に向け、基盤となる力を培う教育を実現する。園児が将来、国際社会
で活躍するために必要となる英語力・読書力・ICT活用力などに苦手意識がうまれな
いよう、幼児期から親しみをもたせる。また28年度は園舎建替えのため、本園舎を
離れての生活となるので、教育・保育内容や施設の使い方を共通理解し、行事や様
々な環境を点検し、必要に応じ見直していく。大学グラウンドや近隣の公園の利用等工夫

し、遊具や施設の安全点検を確実に行う。

(2) 「本園舎での教育・保育計画及び乳幼児保育の研修」

平成 29 年度の本園舎完成に向けて、全教職員を対象に 0 歳児から 2 歳児までの乳幼児保育の研修を実施する。特に園児の健康や安全・安心を確保するため、総合安全管理大綱を基に、事故を未然に防止するための知識を獲得し、実行できるようにする。本格的にスタートする 0 歳児から 5 歳児までの「幼保連携型認定こども園」として、質の高い教育・保育を実現することができる『教育・保育課程・指導計画』を作成する。

(3) 「情報の発信と園児募集」

平成 29 年度からは最新の設備や機能を備えた新しい園舎が完成するが、大阪国際学園グループのこども園としてのメリット（大学施設の利用、大学・短大の教員・学生との交流・支援など）をさらに PR する。また長年培った幼児保育のカリキュラムによる質の高い教育・保育内容の実績を幅広く情報発信し、守口市の「幼保連携型認定こども園」としてのトップランナーであることの知名度の向上を図り、園児獲得につなげる。

(4) 「短期大学部幼児保育学科及び学園グループとの連携」

併設の大阪国際大学短期大学部の幼児保育学科との連携をさらに強化し、子どもと教員・学生との交流を充実させていく。また保育教諭が大学教員から直接指導を受けることにより、保育教諭の資質向上にもつなげていく。さらに、併設の大阪国際大和田中学・高校や大阪国際滝井高校とも交流し、活動内容や経験の幅を広げていく。

以 上